

太 工 同 窓 会 報 第 7 号

昭和52年12月19日

群馬県立太田工業
高等 学 校
同 窓 会

同窓会名簿の発行にあたり

同窓会会長 林 進 一

同窓会々員の諸君におかれましては、益々お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

当同窓会の最も重要な事業の一つである同窓会員名簿発行にあたりましては、従来より何かとご援助、ご高配を賜わり、厚くお礼申し上げます。

昭和四十三年に第一版の同窓会名簿を発行して、早十年が過ぎようとした、本年、昭和五十二年に第二版を発行出来た事は、我々本部役員は非常に喜んでいきます。

しかし、今年で第十三回の卒業生を迎え、総会員数で三千六百人余りとなり、卒業後の移動変更等が極めて激しく、その追跡や調査が非常に困難なため、名簿に不備のある点は誠に申し訳なく存じておりますが、現状をご理解の上、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

卒業生名簿は同窓会活動の基本となりますので、一層の充実完備に努めていきたいと思っております。自分自身の勤務先、現住所は勿論のこと、知人同窓の方でも間違いや変更がありましたら、至急ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

話は変わりますが、先日読んだ本に、こんな事が書いてありました。「日系アメリカ青年の戦闘部隊」の話です。太平洋戦争が始まったとき、アメリカの日系市民は日本のスパイとみなされ、強制収容されましたが、日系兵士たちも疑惑の目で見られたため、軍務から遠ざけられました。そこで日系の青年たちは、自分が生まれ住むアメリカへの忠誠を示すため、自分たちだけの部隊を組織して、ヨーロッパ戦線で戦いたい、と請願を出しましたが、なかなか許可され

ませんでした。だが、ついにルーズベルト大統領の決断がおりて日系市民部隊が三千人で編成されました。その戦いは、ドイツの最強軍団と行ない、まさに日露戦争の旅順要塞攻撃の決死隊のような目ざましい活躍をしました。この実績がアメリカ人の日系人に対する態度をかえさせ、戦後日系人の政界、学界、実業界への途を開かせたのです。この話のように我々同窓会員も一致団結して母校発展や同窓会発展に協力をお願いします。又、同窓会員と本部との連絡をより密にするため、地域毎、会社毎にぜひ支部を作ってもらいたい。皆様のご健康と今後のご活躍をお祈り致します。

想】文明公害

【随 学校長 徳 江 浩

論語の巻頭に、『学而時習之』（学びて時にこれを習う）、ということばがあります。

平素、「学習」ということばを何気なく使っているわたしには、この論語のことばに少なからず違和感を感じました。

学ぶことと、習うことを、区別して考えるなどということの全くない毎日の生活が、違和感を持つ

原因であつたかも知れません。ものの本によりますと、習うという字は、もともと、『羽』の下に『自』と書いたさうです。

ひな鳥がけんめいに羽ばたいて枝から枝へ飛び移り、何度も何度も羽ばたきを繰り返えし、繰り返えして、ついに大空に舞い上るまでの、涙ぐましい自己修煉を指して『習う』と言ったのだということです。

高校のクラブ活動などでは、成績の良いクラブほど、『習う』を地でゆくような厳しい練習が毎日実際に行なわれていると思いが、こと教室での勉強となると、いずれの高校でもいさゝか心もとない状態ではなからうかと思われずし、むしろ、『習う』以前の『学ぶ』こと自体に問題がたたくんあるように思います。

先日、本校で行なわれた定時制生徒の生活体験発表会で、第一席になつた四年生は、「私の体験からすると、自分に都合のよいことは、何一つ自分自身のためにはならないということがわかった」と喝破しています。

つらいこと、苦しいことはなるべく避けて通ろうとする、これはわれわれ現代人の共通した恥部ではないかとさえ思います。

ある新聞が、「日本の大企業で、日本語の達者なアメリカの学生を募集している」、という報道をいたしました。しかも、その企業のねらいは語学の力云々ではなく、どこの国の言葉よりもむずかしい日本語に取り組んで、それをマスターしたその青年の「根気」を高

第六回追指導開催される

進路指導部主任による招集追指導会が、東京都千代田区北の丸公園内科学技術館において東京都及び東京近郊の就職者を対象に行われました。同窓会副会長に参加しての感想と、今年卒業して社会人の仲間入りをしたフレッシュマンに「社会人になつての感想と抱負」を聞いてみました。

追指導に参加して

副会長 関 昌三

恒例の追指導が、東京の科学技術館に於て、開催されました。京浜地区を中心とする、若い社会人の為の、同窓会のフオーアツプ事業であるが、追指導に参加する度に感ずる事は、親元を離れ寮生活を送りながら、慣れない仕事に、人間関係に、一生懸命若さをぶつけている、本当にすばらしい情熱です。最近の進路の傾向として、進学が増加しているのと同じに、自宅通勤が、著しい増加をしている現象をみて、それは確かに、家族員の減少で、長男が多い

く買うのだという事です。わたし自身反省してみたり、周囲の高校生などを見るにつけ、最近の日本人は、老いも若きも、大なり小なり文明公害病の患者にされてしまったのではないかと、ふとそんな不安に襲われるのはわたしだけなのでしょうか。

からという事は、認めざるを得ないが、どうも、自宅通勤をしていると、自分の経験も含めて、精神的に甘くなりがちである。私自身そういう立場にいるだけに、よけいそう思えてならない。遠く親元を離れた、新入社員に接する度に太工高の後輩も、こういふ、何もわからないで、0スタートをしているのかと、心配する次第である。我々同窓会本部に於ても、やつと今回、会員名簿の発行を成し得た今、振り返ってみると、本当に本部役員としての行動が足りなかつたように、反省している。自宅から通勤している同窓生と比較し、遠隔地にいる同窓生との

同窓会に対する認識の相違を考えると、今後は、同窓会員全層に対して、どのような希望があるのか

意見をどん／＼出してもらい、会員の希望に沿った、真の同窓会活動を進めて行きたいと思う。

「社会人になつての感想と抱負」

松下電器(十三期E) 矢 口 啓 二

今春、学窓を立ち、晴れて入社そして社会人としての生活も、早五ヶ月になろうとしている今、こ

間を振り返つて、新前社会人としての感想と、これからの抱負というものを自分なりに考えてみました。仕事は一からの出発。何も解らず、何も出来なかつた入社当時と比較して、大分、解かつてきたが、先輩方比べれば微々たるもの。一刻も早く、一つでも多く学び、先輩方に追いつくように仕事について覚えていかなければならない。自分でも解かつている事だが、今の仕事は、新前として当然の、下積みの期間である。自分としては、不本意な仕事につき精神的にも、肉体的にも、遣り切れなくなる。人間的に小さな私など、逆境を感じる。その中で、社会人としての生き方、考え方、失職談、苦勞話などが、社会人の先輩として書き表わされた書を読んだり、先輩方や、友人達と話し合つたりし、少し勇気づけられ、ま

た頑張るが、次第に逆境を感じてくる。そんなことの繰り返しのようにだつたと思う。

自分自身に怒り、苦しむ。そして自分の小さなことを知り、弱さを知り、苦しさの中で耐えていく辛さを知つた。逆境の時にこそ人間練成のチャンスがあり、その時にこそ、注意深く気を配り、学べば、平素では学ぶことのできない、いろいろなことが学べる。ゆとりある生活をして、冷静に考え成長を期することにより、来たるべき飛躍のときのための基盤を固めておかなければならない時である。とも言われる。

これからは、仕事、社会において、自分の立場を考えて、自分を愛し、大切にし、自己を伸ばし、どうなるのか解からない人生を、自分自身の手で着実に築いていくために、自分の理想と言うものを持ち、そしてその達成を目指して生きていく。その間の様々な経験を通して、より大きな人間となつて

比較し、遠隔地にいる同窓生との

いきたいと思う。

当面は、前記した事を念頭に置いて、達成の基礎を作っていくために、注意しながら、物事に体ごとぶつかるとも、頑張っていかうと思う。

人にはいろいろな考え方、感じ方があるけれど、入社五ヶ月の私として、こんな考えを持っている。

長谷川 香料 (十三期 E)

田 村 浩

はや入社して半年が過ぎ、やつと正社員となり、仕事や同僚の人たちにもなれて来ました。

私も、入社した当時は、ただ、言われたことをやるのがやつとでした。

たとえば、上司から、「この報告書に書いてあるように、原料を仕込んで反応させてくれ。」などとたのまれるわけですが、それがなかなかそのとうりにはいきませんが、まず、装置を組むわけであり、また、いつたどのよう装置を組んだらいいのかもわからないわけですし、たのんだ人に教わりながら装置を組み、それから、試験棚にある原料をさがし、仕込み、やつと反応させるわけです。

それから、毎日のように種類の

ちがった反応を数多くやって来ました。なかには、学校でやったのとはちがいで、有毒ガスを発生するものや、オートクレーブといひ、水素ガスを用いて高圧力をかけて反応させる危険なものまでやらなくてはなりません。

そのたびに、一語になつて、教えてくれた、我が母校の先輩がいます。その人には、色々なことを教えてもらいました。

そんなわけで、わりと早く仕事にもなれ、そこに働く人々とも、だんだんにとけこんで来て、今では、バカげたことを言うようになりました。

私は家を出て寮生活を送っています。最初は、全々知らない人たちがばかりで、なんだかいやでした。屋にあそびに行くようになり、そしていっしょに酒を飲みに行ったりするようになりました。

寮生活も、なかなか楽しいものです。私たちの会社には、太工卒の人がたくさん働いています。私は、良き先輩のいる会社に入社でき幸せに思います。

日産自動車 (十三期 M)

齊 藤 史 郎

僕は今年の四月で社会人一年生となつたわけですが、最初はだれでも自分自身がどの職業に適しているか、この仕事で自分に合っているのか、自分が先輩同様に出来る日はいつになつたらくるのか、覚えるのはおそくないか、などいろいろな心配事が出てくると思う。

僕自身も日産自動車に入社して数ヶ月が過ぎようとしています。今になつても先輩、上司の人たちが自分をどう見ているのか正直言つて不安です。僕は三年の時の担任の先生に日産自動車をすすめる決めた。その時に考えた抱負は、これから日産に入社しようとする後輩のためにも一生懸命頑張ろうと思つた。また、先生にもあいつに日産をすすめてよかつたと言われるようになろうとも思つた。そして、入社の際の気持ちを忘れないうちに頑張つて今までやってきた。昼夜二直勤務体制だったので健康に対しても一年間は疾病等にかからず頑張ろうとも思つた。月日が過ぎるにつれて自分自身のための抱負に変わりつつある自分に

同窓会名簿陰の力

かねてより念願の同窓会名簿が完成して、我々同窓会本部もホッとしてるところですが、名簿作成にあたりクラスの調査員として活躍してくださいました方に、ウラ話しを聞いてみました。

内 田 晴 之

(十期 CA)

まずは発刊お目出とうございます。さて当時の苦勞話と云う事ですが、私の場合苦勞と云う程の事でないにしても、最初考えた以上に大変だったので結構手間どつてしまいました。というのもこの事についての打合せで、最初に学校の会議室に集まつたのがたしか七月の終り頃ではなかつたかと思ひ

ます。そこで概ねの話を聞いた訳ですが、一人当たりの分担も一クラスだったのでひとまず安心したのがそもそも誤算の様でした。そんな事で電話をかけて始めたのですが、まず困ったのは本人がいない時です。そんな時は家族の人に聞かなければならないのですが最初から説明して聞くだけでも最初予想した以上に時間がかかる事でした。又本人がいればいたで、つい話こんでしまい一時間以上も電話の前に座っていてもいくらかはかどらない有様でした。そんな事を一週間近くもやっていたものですから、たまたま電話をかけてきた友人にいつも話し中ですから「お前の家の電話は故障しているのか」なんて言われた事もありました。しかし、今度の調査は大変だったにしても、ひさしぶりの級友に会ったり、声を聞いたりするとそんな事も気にならなく、今では懐かしい思い出になっています。

最近の進路状況

進路指導主事 鈴木 敏一

この間、しばらくぶりで本校同窓会員名簿が出来たので、ひまをみては、なつかしく眺めています。卒業生が三、八八五名であること

を知り、創業以来十五年の歳月の重みを、ひし／＼と感じました。現在の産業界は、長い／＼不況のトンネルに入つて、すでに四年になるのに、未だ明るい先が見えず非常に大変のようですが、私が仕事の関係で会社の人事担当の方とお会いして、いつも感ずるのは、たくさんの卒業生の活躍ぶりのことです。いつの間にか、それぞれの場で実力を身につけ、地元を中心に大きな影響力を持っている点私達の責任の大きさも感じ同時に後輩への大きなはげみともなっております。今後のより一層の活躍を期待します。

次に本年の進路状況の進行状態を簡単に記します。(十月三十日現在)

一 求人会社	総数	五二八社
うち県内		一三八社
東京		二五三社
関東		一一五社
その他		二二社
昨年度中の総計が六五〇社であったので多少減少している。		
三 生徒の希望別		
就職希望		一六四名
うち学校幹旋		一四五名
縁故		八名
自営		一名
進学希望		七二名

うち学部 四七名
短大専修 五名
各種学校 二〇名

このうち学校に就職を依頼した一四五名中、現在まで内定したものは一二二名であり、これは希望者の八三％にあたり、順調に進んでいる。未定者は公務員関係(県職、警察、市役所、自衛隊、消防署等)が主で、決定はおそくなる。

また進学についてはこれからであるが、国立工専の四年編入試験は行われ、小山工専に二名群馬工専に一名合格している。就職の決定した会社の中で、人数の多いところを上げると、富士重工 三〇名、岡本理研 九名、東京三洋 五名、荻原鉄工 四名、凸版印刷 四名、味の素 四名、沢藤電機 三名、日東電機 三名、ニプロ医工 三名、興国化学 四名、日産自動車 三名、エーザイ 三名、等

次に本年度の特に気づいた点は、一不況の影響か、やはり公務員関係の希望が増加し、どこも競争率がはげしいようである。また民間でも、安定性を重視する傾向が強いようである。二この東毛地区に限って見られ

た特徴は、富士重工を主体とした自動車産業や、その関係会社の好況により、地元の求人が増加した。

三それ以外の産業は割合に慎重であり、特に家電関係の求人は減少した。

四一次不合格が昨年に比し増加した、またなかには定員の枠内であっても成績が期待以外の場合には不合格とする例も見られた。

五需要の低迷は相当深刻のものがあり、企業の業種間、および会社間の格差がかなり拡大している模様である。

【特別寄稿】

創世期の思い出

岩崎 昇

最近諸々の理由で第一期卒業生に接する機会が度々あります。第一期生は今では三十才を少々オーバーしているように計算されます。卒業時よりの十数年の過程での卒業生の成長の度合の余りにも長足なのに驚くばかりです。揺らん期の子供の成熟に目を見張る親たちになら現象です。すでに社会で中樞の座にあるようです。職場にあっては主要な役割を演じ、企業の経営者となり数多くの従業員を生

活を支える立場にある者もおります。そのすべてが社会の動きの中堅的立場にあるわけです。とかく私達教師は高校時の紅顔の美少年だった印象だけが強烈で現在の立場を無視する場面もあり得るのでしむじみと悔悟と反省の念を感じずることもありません。とかく学校の創世期の人達に接する度毎に当時のいろいろな事象が鮮明に脳裡に浮んでまいります。開校にあたって最初の生徒が入学したのは昭和三十八年四月だったと思います。当時現在の校舎は完成を見ず人家もまばらの田園に竜骨が建つていただけだったので廃校になったばかりの旧金山学園が仮校舎として使用されたわけです。当校は旧女子校であったため建物も校庭も狭小で男子生徒の活動は著しく限定されたものです。所在地も太田の市街地より遠く離れ通ずる道路も舗装されず雨が降るとぬかるみとなり日が照るとほこりで通行が不可能となり、電車通学生などは東武鉄道三枚橋駅より一キロ以上の桑畑の畔道を当時流布された文化国家なる言葉を引用し降ればぬかるみ照ればほこりの文化国家などと冗談をばして登下校したものです。しかし学校をめぐる環境はすばらしく西北に赤城の連山がく

つきりと浮び東南には幾多の史実をひめた金山の松の緑を望み、校内には雑木林、竹やぶなどがあり生徒に詩情をそそい、その生活にこよないうらおいを与えたようです。その当時校内で物の紛失生徒間にトラブルらしきものが皆無であつたのは数百人中より選ばれた生徒達の良識自覚によるはもとより秀麗な環境の影響ではなからうかと思われまます。学習活動では教育機材はとほしく運動用具もなく非常に難渋をきわめたわけだが、生徒達の目的意識の自覚と学校全体の設定目標へ向つての前向き姿勢が、すべての苦難を克服して学校の行く手を見守る人々の予想以上の成果を収めた事実は私達の其の後の生徒の生活学習指導に大きな指針を与えてくれました。

〔特別寄稿〕

私の生活の一面
高木貞雄

春の微風が吹く、春の陽光が輝く頃柔かな若葉は又あの黒い土をもたげて、なよやかな生命の歓喜を私達に力強く見せてくれる。私はそれを見て久しい間私の生活から忘れていたあるものに気がつくことがある。それは長い間氷に閉された冬が私の生活からうばつて

いたあの釣の思い出であつた。春になると夜は早くも明け放れる東の雲がひそかに、はたたく頃から釣竿を肩に家を飛び出して行く。広々としたムギ畑、朝露をしつりと含んだ若草に、はさまれて湿気を帯びた土の小道をたどつて行くとき、かすみに煙つた遠山が次第に姿を現わしてくる。私はこうした釣の前奏曲にさえ、よろこびを感じないわけにはいかなかった。夏がくると水は水を抱いて水につぎ紺碧又紺碧である。かぶつているムギワラ帽子は水面に落ちた白い雲の真中に、はつきりとその影をうかべている。やがて日が赤色を雲に残して山の彼方に沈んでいくのをみると私は道具を片附けるのも忘れて満身にその光を浴びながら心から荘嚴の気持に打たれる。そして大きなものを感じて黙々と家路にたどる。秋になると山茶花がそのわびしい花びらを飽くまで清く飽くまですんだ空の下に開く私はそのしじまの中に一人糸をたれて悠久な天を思い静かな人生を味うのである。又ある時は雑木林をふみ分けて無影の鬼あざみの紫にそしてそのとげにふれた時強く雑草の中にとげとげと伸びているこの世の植物に限りない秋の淋しさが湧き出てくる。私は秋の

この自然が大好きである。ことにその秋もふけた落葉の雑木林を愛する樹枝に残つたあの山柿が十一月の空間を彩っている。このように釣や自然は私の生活にただ詩的情緒と自然の偉大さ、尊さを与えてくれるばかりではない。更に私に輝く健康の光と強い忍耐の力をめぐんでくれた。そして釣は主我的静境から突如躍動的動の世界に移る微妙なせつな的心境の妙味を又山柿の赤色に私は真実の自然らしい自然の姿を発見する。

今や完全に私のたましいを魅了し去つて、はなれることが出来ないものとなつた。

生徒会だより
活躍する母校のクラブ活動

母校の生徒会各部の活動も、毎年、年をおうごとに、部員の精進と顧問教師の熱意等によりめざましい成果をあげてきています。

運動場がせまくて、各部の練習がかち合うこと、施設々備の老朽や不足、クラブ活動に意欲を示す生徒の減少等のさまざまな問題をかかえながらも、人間を育てる教育の実践の場として、クラブ活動が行なわれています。

昭和五十二年中の各部の活動を次に表にまとめましたので、

活躍するクラブ活動		太田工業高校生徒会				
クラブ名	大会名	種目	出場選手チーム	場 所	期 日	成 績
陸上部	総合体育大会	砲丸投	細井 豊(2CB)	県 営	5/18	2 位
"	国体予選	ハンマ投	"	"	8/20	4 位
"	"	砲丸投	田村勝基(1FA)	"	"	3 位
柔道部	県紅白試合	柔 道	小林 貴(2EB)	県武道館	9/4	8人勝抜き 2段昇段
計算尺部	第5回群馬県計算尺 競技大会	団 体	太田工業高校 Aチーム	太 工	7/13	優 勝
"	"	個 人	春山喜吉(3EB)	"	"	"
"	"	"	松本 正(3EA)	"	"	準優勝
野球部	第59回全国高等学校 野球選手権大会群馬大会	硬式野球	野 球 部	県営球場	7/22	準々決勝進出 富高6:5太工
庭球部	関東高校選手権大会	個 人	堀越清志(3MA) 小林康男(3CB)	甲 府	6/	4 回 戦
スケート部	第26回全国高校選手 権大会	スピード スケート	島田照夫(3MB)	伊 香 保	1/28~31	500m予選20組5位 1500m " 10組5位
バスケット部	第32回国民体育大会	少年男子バ スケットボール	三沢正伸(群馬県) 青田伸生(代表)	青森県 八戸市	9/2~9/5	2 回 戦
山岳部	夏山山行	/	顧問 2名 部 員 6名	北アルプス 檜ヶ岳方面	8/2~8	全 員 登 頂
水泳部	第28回関東高等学校 水泳選手権大会	背 泳	斉藤 建(3CA)	宇都宮市 県営プール	8/10	予 選 4 位

ごらんください。機会をみつめて先輩諸兄の指導激励を期待しております。

学 校 だ よ り

職員移動 昭和五十二年四月
田沼広美先生(国語) 館林女子高 校へ
稲田和則先生(数学) 西邑楽高校 へ
石井隆夫先生(定機) 都立篠崎高 校へ
剣持好男先生(国語) 新任
岡谷史夫先生(数学) 板倉高校よ り
菅原 茂先生(定機) 新任

会 員 だ よ り

計報(五二・一―五二・十一)
野村茂雄 (三期E)
斉藤浩之 (六期C)
同窓会では、既に三十一名の方々が永眠されました。
謹んでおくやみ申し上げます。

事 務 局 だ よ り

同窓会名簿を発売して約半年経過しましたが、もし購入希望者又は、同窓会の友人で購入を希望している方がおりましたら、太田工同窓会係まで連絡してください。なお送料込みで千三百円です。

編 集 後 記

今回は特に今年卒業し、東京近郊に就職され、追指導に参加していただいた中から三人の方に、また学校側より、母校発展のためいまなをご活躍の、岩崎、高木両先生に原稿をいただきました。ありがとうございました。昔を思い出していただければ幸いです。
同窓会活動の大きな事業である同窓会名簿も完成して、一つの区切りができ、今後さらにみなさんの力を結集して、同窓会が増々発展していくよう努力したいと思いますので、ご協力をお願いします
(天ヶ谷記)

